

第2回館山市総合計画審議会 (4) テーマ別意見交換 各グループの意見まとめ

テーマ：②若者に選ばれるまちになるためには。(仕事・教育)

【全体について】

- 単に人口を増やすことを目指すのではなく、館山の特性を活かして、今住んでいる人が幸せになるような施策を実施し、それを情報発信することで人が集まってくるようにする。仕事も教育も地域内で循環していく仕組みを作る必要がある。
- 仕事と教育は一体であり、切り離して考えることは難しい。将来Uターンしてもらう可能性を高めるためには、学力や生きる力を身につけるとともに、起業マインドを育むことで、館山で新たな雇用の場を創出するような人材を育成することが重要。

【仕事について】

- 若者を館山にとどまらせることは難しいし、すべきではない。むしろ、戻ってきても働ける場や環境をつくることが大切。将来の館山のためにも、一度外の世界に出て、様々な経験を積み、人脈を広げて戻ってきてほしい。
- 若い世代にとって、安定した収入や魅力的な仕事、多様な働く場を確保することが重要。そのために、起業によって新たな働く場を生み出すとともに、サテライトオフィスの誘致やリモートワークを推進し、働き方の選択肢を増やす。

【教育について】

- 教育水準を向上させ、進学実績の強化を図り、市長・教育長を先頭に、日本一の教育のまちを目指す。
- 館山ならではの自然や環境を活かした独自の少人数教育を行うなど、全国の子供たちから“館山で学びたい”と思ってもらえるような施策を実施する。
- 10年後、20年後を見据えた種まきが重要。とがった教育をすべき。

※各グループで出た個別意見は裏面の表のとおりです。

裏面に続きます。

	仕事	教育	その他
A	<ul style="list-style-type: none"> ・若者に「館山に残れ」というのは無理。戻ってきてでも働ける場があるようにする。 ・地元出身の採用を重視しているが、女性が結婚（職場結婚）を機に市外へ出て行ってしまふことが多い。 ・地元につなぎとめる何かが必要。地元就職の受け皿が少ない。交通の良さが逆効果。 ・市内出身の男性職員が少ない。 ・地産地消が大事。地元経済を循環させる（富の流出を防ぐ）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進学実績の強化を図るべき。テストの実施。 ・市長・教育長を先頭に日本一の教育のまちを目指すべき。 ・都市部との差別化。館山・南房総だからできる教育カリキュラム。 ・子どもたちの勉強する分野。総合力、介護等（人手不足）。 ・ネームバリュー、自信をもって教育に取り組むべき。人への投資をする。 ・親の先入観。市外の方がもっと良い教育が受けられる、もっと良い職場がある。 ・市内高校がどう変わるか。 ・親の意見が強い。特に中学生。勉強・スポーツとも優秀な子どもは北へ。交通の便が良くなった。 ・館山には素材、ハートがある。癒すものがある。若者・子どもはふるさと館山の良さを学んでもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人口を増やすことだけが地方創生ではない。 ・ここに住んでいる人が居心地よくなるための施策を実施すべき。SNS の発信、スローライフ→自然と人が集まってくる。 ・明石市のように子育て施策を図るべき。ただ人を増やすのではなく、障害の方も含めて、住みやすさを考える。 ・仕事・教育ともに、本質的な戦略が重要。 ・現状を打破する、打破しようとする前向きな姿勢が行政に必要。
B	<ul style="list-style-type: none"> ・移住の人にとって、自然環境はあたりまえ。 ・安定した収入、製造業誘致、場所にとらわれない仕事。 ・漁師のなり手がいない。農業と漁業にも力入れてほしい。 ・東京の方が稼げる。 ・若い世代の収入安定。働く場所の確保。結婚・子育て。 ・現在ある企業に元気になってもらう。 ・地元と移住者で意見が違う。 ・外の力を引っ張りやすい立地と環境。もったいない。 ・企業や大学の誘致難しい。 ・仕事がないのと働く場がないのはどちらも本当。 ・起業する力、生きる力、学力が必要。先生も巻き込んで。 ・起業によって新たな働く場を生み出す。 ・漁業権等、規制緩和によりチャンスある。 ・どういう人材を求めるのか？→起業マインドある人。 ・外に出て、様々な経験をし、館山に戻ってきてほしい。人脈を広げてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育が全て。将来を見据えた種まきとても大事。 ・進学は南よりも北の方が良い。 ・大学誘致はあまり賛成しない。レベル的にあまり刺激ない。 ・館山市だけでできること+α。 ・総合大学より専門的な大学・学校。 ・とがった教育→10年後、20年後生きてくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・とがった教育、変わってきた働き方→地方に目を向けている。 ・一次産業と IT 両方大事→教育で！ ・地元から離れたくない人には、通える学校・職場を。 ・一度出ると戻ってくるタイミング難しいのでは？ ・選択肢少ない。 ・教育と仕事を切り離して考えるのは難しい。
C	<ul style="list-style-type: none"> ・リモートオフィス。 ・外の資本を入れるべき。 ・普通に暮らせる仕事が少ない。先生か公務員。 ・大学出てもいいなと思える仕事が必要。 ・インフラ整備しないと、企業は来ない。時間的僻地。 ・館山の魅力となる基盤をつくったうえで、サテライトオフィスなど新しいものを取り入れていくべき。 ・農業の後継者問題。 ・若者が育てる職場になってほしい。 ・高速バスで通勤しているが、全く大変じゃない。企業誘致よりも通ってもらう方が簡単。 ・企業誘致はものすごく大変。 ・高校卒業後、残って就職する人たちに対しての教育をしっかりしてほしい。→30代過ぎて戻ってくる人増えるはず。 ・人と人とのつながり。ソーシャルキャピタル。 	<ul style="list-style-type: none"> ・無理に都会に追いつかなくてよい。 ・小規模ならではの教育。 ・教育水準上げないと勉強しなくなる。 ・都会に比べると教育格差激しい。お金がないと。 ・切り込んだ教育方針。ワクワクさせるような体制づくり。 ・教育はそれぞれの子どもの意思。 ・全国の子どもが館山で学びたいと思う何かが必要。 ・学校現場は教員人数等、ギリギリでやっている。先生一人に対する子どもの数を減らすこと、それが逆に強みになるのでは。 ・行政含めてみんなで意見・知恵出し合えばできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが選ぶものを作ってあげることが大事。職業も一緒。 ・休日は県外に遊びに行ってしまう。お金が市内に落ちない。